

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
北薩地域	阿久根市、出水市、長島町	平成 2 6 ~ 令和 2 年度	平成 2 6 ~ 令和 2 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成24年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	9,814t	8,636t	9,785t	2.5%
	1 事業所当たりの排出量	2.39t	1.95t	2.23t	36.4%
	生活系 総排出量	19,153 t	17,070t	17,144t	96.3%
	1 人当たりの排出量	185.03kg/人	164.42kg/人	181.22kg/人	18.9%
合 計 事業系生活系総排出量合計	28,967t	25,706t	26,929t	61.9%	
再生利用量	直接資源化量	1,999t	3,030t	1,323t	-40.8%
	総資源化量	3,295t	4,513t	3,476t	27.9%
最終処分量	埋立最終処分量	3,970t	3,196t	3,731t	-15.4%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

(ごみ処理)

■排出量

全ての項目で目標を達成することができなかった。事業系ごみについては、緩やかな景気回復により、事業活動が活発になったことが大きな要因であった。近年はコロナ過による事業活動の縮小により、事業ごみは減少してきたものの、目標には大きく届かなかった。また、生活系ごみについては、啓発活動及び人口減少等によりごみ排出量は減少したものの、僅かに目標に届かなかった。

■再生利用量

再生利用量も目標達成することができなかった。要因としては、①人口が想定よりも多く減少したこと。②生活系資源ごみの原単位の目標設定が高かったこと。③民間事業者による古紙回収ボックスの設置により、回収量が大きく減少したこと。などが考えられる。

■最終処分量

ごみの排出量（特に事業系ごみ）が減らなかったことが要因と思われる。

### 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和9年度まで（令和3年度策定地域計画期間）

（ごみ処理）

■排出量

現状施策に加え、ごみの展開調査の実施及び啓発、分別指導等を行い、さらにプラスチック資源循環促進法による更なるリサイクルの推進を検討する。また、3010・2010運動を推進し食べ残しを減らすよう取り組む。

■再生利用量

ごみの展開調査により、リサイクル可能なごみが燃えるごみとして排出されている状況を情報発信し、適正な分別が行われるよう周知を図る。また、長島町ではリサイクル事業者と令和4年3月に協定締結し、パソコン等小型家電の宅配回収サービスを開始した。

なお、民間事業者による古紙回収ボックスの設置などで、再生利用量が減少している状況を加味して、ごみ処理基本計画の見直しを行う。

■最終処分量

ごみ排出量の減少・再生利用量の増加が、最終処分量を減少させることに繋がることから、更なるごみ排出量の減少及び再生利用量の増加に努める。

（都道府県知事の所見）

（ごみ処理）

今後、本改善計画書に挙げられた施策を確実に実施するとともに、更なる評価分析を行った上で目標達成に向けた努力が期待される。県として、今後も北薩広域行政事務組合の施策を積極的に支援していく。